





県下三大祭りの一つ。子どもが当人となる伝統的な民族行事

吉川八幡宮当番祭



指定区分	県指定重要無形民俗文化財
読みかた	よしかわはちまんぐうとうばんさい
所在地	吉備中央町吉川
指定年月日	昭和30年3月18日
解説	毎年10月1日から約1か月にわたり行われる祭礼行事。吉川八幡宮を中心に南北に分けた地区から祭礼の主役となる10歳前後の「当人」が選ばれ、祭礼終了まで神人としての生活を送る。古式にのっとり各種の神事が行われ、大祭日には、馬に乗った当人を中心とした行列が神社まで進む。御神幸の後、当人の走り競べが行われ神社での祭礼は終了する。
アクセス方法	賀陽ICから車で10分
公開状況	10月第3土・日曜日、10月第4土・日曜日（大祭）、11月第5日曜日（10月1日当差しは非公開）
設備	吉川公民館の他、大祭当日は臨時駐車場を用意 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  駐車場 </div> <div style="text-align: center;">  トイレ </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  障害者用駐車場 </div> <div style="text-align: center;">  障害者用トイレ </div> </div>
備考	吉川八幡宮から徒歩5分のところに吉川歴史民俗資料館があります。

きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定重要無形民俗文化財
ぶんかざいめい (文化財名)	吉川八幡宮当番祭
よみかた	よしかわはちまんぐうとうばんさい
しょざいち (所在地)	吉備中央町吉川
していたひ (指定した日)	昭和30年3月18日
せつめい	地元(じもと)の南と北の地区から、それぞれ一人ずつ10才くらいの男の子が「当人(とうじん)」とよばれる役(やく)に選(えら)ばれます。当人に選ばれた子は、まつりがおわるまでの1ヶ月ほどのあいだ、神(かみ)さまとしてすごします。まつりのクライマックスでは、当人は馬にのって、当人の家族(かぞく)や親戚(しんせき)などと一緒に(いっしょ)に行列(ぎょうれつ)をつくって神社に進(すす)んでいきます。まつりの期間(きかん)がおよそ1ヶ月もあり、別名(べつめい)「だらだらまつり」ともよばれています。